



平成 29 年 2 月 9 日

各 位

会 社 名 千代田化工建設株式会社
代表者名 代表取締役副社長執行役員
中垣 啓一
(コード番号 6366 東証第一部)
問合せ先 主計 SL 関田 信雄
(TEL 045-225-7745)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成28年5月12日に公表した平成29年3月期の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 平成29年3月期 通期連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	550,000	18,000	14,000	5,000	19.31
今回修正予想 (B)	610,000	18,000	0	△36,000	△139.01
増減額 (B-A)	60,000	-	△14,000	△41,000	-
増減率 (%)	10.9	-	△100.0	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	611,548	16,015	16,205	3,375	13.03

2. 通期連結業績予想修正の理由

売上高については、海外 LNG 工事でリンバース契約による受注が増大し完工が増加したこと、および円安が進んだことによるものです。経常利益については、本日別途公表した「営業外費用および特別損失の計上に関するお知らせ」の通り、持分法による投資損失を営業外費用に計上したことによるものです。

親会社株主に帰属する当期純利益については、同じく本日別途公表した「営業外費用および特別損失の計上に関するお知らせ」の通り、第3四半期に計上する損失ならびに当期に見込まれる税金費用の見直しを通期連結業績予想に織り込んだことによるものです。

なお、売上高および利益予想の前提となる想定為替レートを従来 of 1 米ドル 105 円から 115 円に変更しております。

昨年 3 月末に資本参加した海中・海底(サブシー)関連の EPCI(設計・調達・建設・据付)業務を遂行する EMAS CHIYODA Subsea Limited はサブシー事業を取り巻く環境の想定を上回る厳しい状況に直面し、当初見込んだ利益計画を大幅に下回ったため、当社はそれを受けて業績予想の見直しを行ったものです。

配当につきましては、今回の損失が投資に係わる一過性のものであることから、当社の財務内容を総合的に勘案し、平成 28 年 5 月 12 日に発表した年間配当金の予想を変更致しません。(一株当たり 6 円)。

3. 見通しに関する注意事項

この資料に記載されている業績見通しは、種々の前提に基づく将来の予想であり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。従いまして、これらの見通しのみにより判断をされることは控えるようお願い致します。

以 上